

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 23

2009年11月17日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今回の“静大ラボ紹介”は、海老澤嘉伸研究室です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「産学人材育成パートナーシップ事業シンポジウム」のご案内
2. 「第2回フーズ・サイエンスセミナー」のご案内
3. 知的財産セミナー「商標のあらましと出願の実務」のご案内
4. 「大学サイエンスフェスタ静岡大学in国立科学博物館」のご案内
5. 「サイエンスカフェin静岡」のご案内
6. 静岡大学生物産業創出推進拠点「第22回研究会」を開催します
7. 静大創立60周年記念「静岡大学・中日新聞連携講座」のご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。
メール送信の際は○欄に@を入れてください。

1. 「産学人材育成パートナーシップ事業シンポジウム」のご案内
—アグリビジネルの展望を探る—

日時 2009年11月17日（火）13：00～16：00
会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ 大ホール
主催 静岡大学農学部
内容 ○基調講演
「儲ける農業の経営戦略と農業経営の革新方向」
岩手大学名誉教授 DABアグリ研究所 木村伸男氏
○パネルディスカッション
「『産業としての農業』・『魅力ある農業』への転換」
参加費 無料
URL http://www.agr.shizuoka.ac.jp/san_gaku/sg_index.htm
問合せ 静岡大学産学人材育成パートナーシップ事業 事務担当
e-mail nogyo-business@agr.shizuoka.ac.jp

2. 「第2回フーズ・サイエンスセミナー」のご案内

日時 2009年11月18日（水）13：00～18：30
会場 焼津市文化センター小ホール
内容 ○大学との食品技術相談会
静岡大学等の産学連携担当がご相談に応じます
○講演会
基調講演「嚙下食ピラミッド対応の食品開発」
浜松大学健康プロデュース学部健康栄養学科准教授 金谷節子氏
「海洋性機能性食品素材の開発と応用」
焼津水産化学（株）機能食品開発部開発グループ長 川口光朗氏
「かつおの生態と資源動向」
静岡県水産技術研究所資源海洋研究室副主任 増田傑氏
参加費 無料（交流会：3000円）
詳細/申込 <http://www.ric-shizuoka.or.jp/mt/info/20091008-363.htm>
問合せ (財)しずおか産業創造機構 フーズ・サイエンスセンター

3. 中小・ベンチャー企業向け 知的財産セミナーのご案内
「商標のあらましと出願の実務」
～商標（ブランド）を確保するための第1歩を知る～

日時 2009年11月20日（金）13：30～16：30
会場 浜松労政会館 第三会議室（浜松商工会議所会議所会館7階）
講師 能條佑敬氏（弁理士・大阪工業大学 知的財産本部 講師）
内容 ・商標（ブランド）とは
・商標の理解、日本の現状など
・商標を特許庁に登録するための手続きポイント
・商標を「信用の蓄積箱」と考えての管理
主催 広域関東圏知的財産戦略本部・関東経済産業局・特許庁
共催 はままつ産業創造センター
実施機関 社団法人発明協会
参加費 無料
詳細 http://www.jiii.or.jp/semina/pamph/1120_shizuoka.pdf
問合せ はままつ産業創造センター TEL 053-452-5333

4. 「大学サイエンスフェスタ静岡大学in国立科学博物館」のご案内

日時 2009年11月20日（金）～29日（日）9：00～17：00
会場 国立科学博物館（東京・上野）
内容 「光が拓く未来社会」をテーマに静岡大学の先端研究とその成果を紹介いたします。
詳細 <http://www.shizuoka.ac.jp/60th/sciencefesta.pdf>
問合せ 静岡大学 TEL 054-238-5059

5. 「サイエンスカフェin静岡」のご案内

日時 第34話 11月26日（木）18：00～19：30
「GPSで東海地震の予知を目指す」
第35話 12月17日（木）18：00～19：30
「ケイ素の有機化学～生活に役立つシリコンの化学～」
第36話 1月28日（木）18：00～19：30
「芳香族化合物はなぜ安定か」
第37話 2月19日（金）18：00～19：30
「植物油のはなし」
第38話 3月25日（木）18：00～19：30
「原子核の内部を探る～ミクロな世界を支配する物理学～」
会場 B-nest静岡市産学交流センター6階プレゼンテーションルーム
主催 静岡大学理学部
参加費 無料（申込不要）
詳細 <http://www.shizuoka.ac.jp/~rigaku/sciencecafe/index.html>
問合せ 静岡大学理学部 e-mail sci-cafe@ipc.shizuoka.ac.jp

6. 静岡大学生物産業創出推進拠点「第22回研究会」を開催します
～食品免疫研究の最前線～

日時 2009年12月4日（金）13:25～17:00

場所 B-nest (JR静岡駅より徒歩5分)
主催 静岡大学生物産業創出推進拠点
講演内容
1. 「食品免疫研究の現状と将来展望」
東京大学名誉教授 日本大学教授 上野川修一氏
2. 「小腸ムチン分泌を支配するルミナコイドの物性と化学情報」
静岡大学農学部応用化学生物化学科教授 森田達也氏
3. 「磐田化学工業(株)の事業紹介」
磐田化学工業(株)営業部食品開発G担当部長 奥野美智子氏
4. 「日研フード(株)の会社・製品の紹介」
日研フード(株)研究開発本部部長 橋本和也氏
参加費 会員及び学生・・・無料 非会員・・・1,000円
詳細 <http://bio.cjr.shizuoka.ac.jp/newmeetng21.html>
問合先 静岡大学生物産業創出推進拠点 事務局
TEL 054-238-3517

7. 静大創立60周年記念「静岡大学・中日新聞連携講座」のご案内

日時 第3回 12月12日(土) 14:00~16:00
「未来の科学者を育てる～ものづくり理科地域支援
ネットワーク・浜松RAIN房の挑戦～」
第4回 1月9日(土) 14:00~16:00
「子育てのコツ、教えます～子育て支援コンテンツの
構築を目指して」
第5回 2月13日(土) 14:00~16:00
「未来のテレビはこうなる～画像工学の現在と未来～」
会場 静岡大学浜松キャンパス佐鳴会館
参加費 無料
詳細/申込 <http://www.shizuoka.ac.jp/60th/images/chuu-simin-koza.pdf>
問合先 静岡大学生涯学習教育研究センター
e-mail LLCOipc.shizuoka.ac.jp

《 静大ラボ紹介 -8- 》

工学部システム工学科 海老澤嘉伸研究室

「目は口ほどに物を言う」ということわざがあります。実際に目を見て相手の心を読み取った経験のある人も多いと思いますが、これは「目」というより「表情」から読み取っているのではないのでしょうか。しかし、瞳孔の大きさは興味・関心の有無や心理状態によって変化するからです、「目」だけを見て相手の心を読むこともできるのかもしれませんが。

さて、海老澤研究室では瞳孔検出技術を、実際のコミュニケーションに利用する研究を行っています。瞳孔の動きをパソコンのマウスの動きに対応させることで、手を使わなくてもパソコンの操作ができるというものです。これにより、例えば筋萎縮性側索硬化症の患者さんがパソコンを使って会話することができるようになります。

また、海老澤研究室では瞳孔検出を利用し、視線や注視点を高精度に検出することも可能にしました。人がどこを見て、何に興味があるのか調べることができます。9月に東京・有楽町で行なわれたイノベーションジャパン2009で出展した際には、多くの方に来ていただき、様々な応用例をご提案いただきました。「目」によっていろいろなことができる時代が近いかもしれません。(記：藤縄 祐)

《 みんなのコラム 》

非常勤で産学官連携と大学発ベンチャーのお手伝いをしながら、地元の産学官金連携のお手伝いもさせていただいています。学内・学外両方の立場で現状の「産学官連携」、特に”中小企業と大学の関係”を俯瞰すると、まだ十分とは言えないようです。

ここ十数年、産学官連携推進関係者の努力で産と学、特に静大と地域企業との距離は確実に近づきました。一部の中小企業は、上手に学の知を活用されていますが、大部分の中小企業からの距離はまだ遠く、連携推進には一工夫が必要です。

特に、年々高度化・細分化する学の知を利活用できる人材が不がちの中小企業に、学生がなかなか就職しないこともその原因の一つと考えられます。

ここ数年静大の「ものづくり系サークル」の応援をしている関係で、独自技術を持った地元中小企業を学生に紹介する機会が度々あります。学生にとって座学では知る事ができない社会・技術を知る良い機会になり、企業にとっても最近の学生気質・志向を・実力を知る良い機会になっている様です。

非常勤の産学官連携コーディネーターとして、広い意味での産学官連携のお手伝いをしながら、今後も「産業界と学生の連携機会創出」を心がけたいと思います。大所高所より学生支援（＝実学で次世代人材教育）に協力していただける企業様からのご連絡をお待ちしております。
(記：名和英夫)

《 編集後記 》

今月、静岡大学は、高柳健次郎先生の電子式テレビジョン研究の業績が認められ、米国電気電子工学会のIEEEマイルストーン賞を受賞しました。

12日には、浜松キャンパスにある高柳先生の胸像前で除幕式が行われ、多くの関係者が参列する中、IEEEより銘版が贈呈されました。実際の銘版は9kgもあるとのこと。銘版の末尾に“His work, patents, articles, and teaching helped lay the foundation for the rise of Japanese television and related industries to global leadership.”とあり、高柳先生の多方面に亘る功績に、改めて敬服しました。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・購読中止のご連絡は、sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp までお願いします。(↑送付の際は〇欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター

編集：原典子

編集責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1414

URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —
by Copyright(c)2008-2009 Innovation and Joint Research Center,

